

# 令和5年度第1回四街道市総合計画審議会

## 会議次第

日 時：令和5年8月16日（水）  
14：00～

場 所：四街道市役所  
保健センター3階大会議室

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 会議の公開・非公開

4. 議 題

(1) 新たな四街道市総合計画基本計画骨子（案）について

(2) その他

5. 閉 会

四街道市総合計画  
第1期基本計画骨子（案）

# HAPPY SMILE PLAN

—笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道—



## 1 計画の考え方

この基本計画は、基本構想に掲げる「幸せつなぐ 未来への道しるべ」に示す4つのまちづくりの道を踏まえ、今後の取組方針を示す四街道市の最上位の計画となります。

今後、基本計画は、社会情勢を踏まえながら5年ごとに見直し、第1期基本計画から第4期基本計画に分けて計画を策定します。

この基本計画では、分野ごとに目標を設定し、それを実現するための政策・施策を体系的に示しているほか、地方創生の観点も踏まえ、行政における組織横断的な視点や重点的な取組を重点プロジェクトとして定めます。

### SDGs(持続可能な開発目標)

SDGsとは、「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」のことであり、地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。平成27年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられ、令和12(2030)年を期限とし、17のゴールと169のターゲットで構成されています。

また、国のSDGs推進本部において平成28年に決定し、令和元年に改定した、SDGsの達成に向けた中長期的な国家戦略である「SDGs実施指針」では、地方自治体のさまざまな計画にSDGsの要素を反映すること等が期待されています。

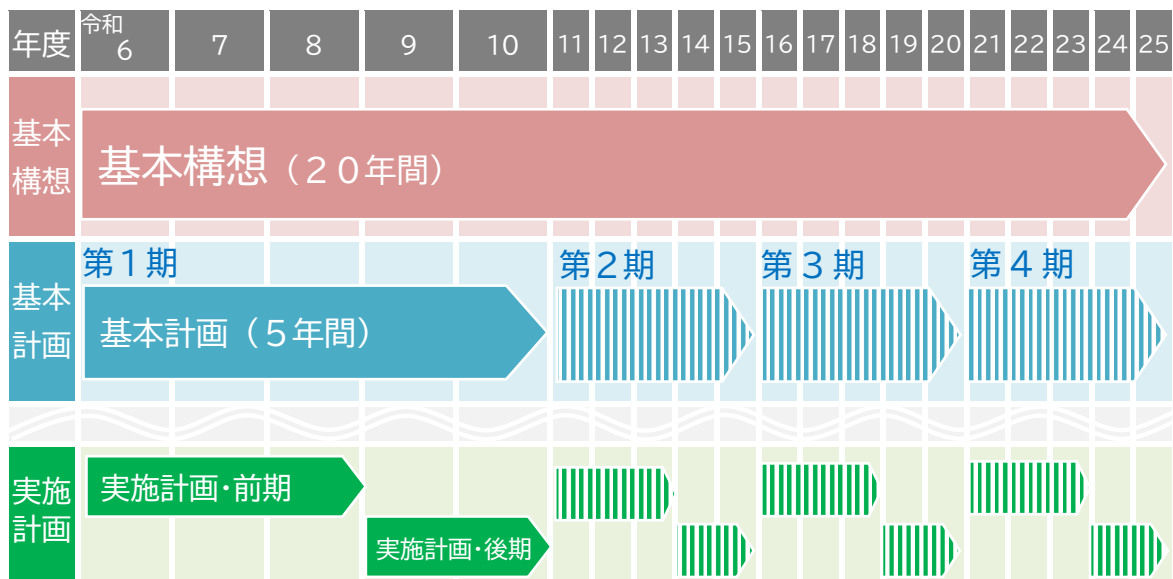
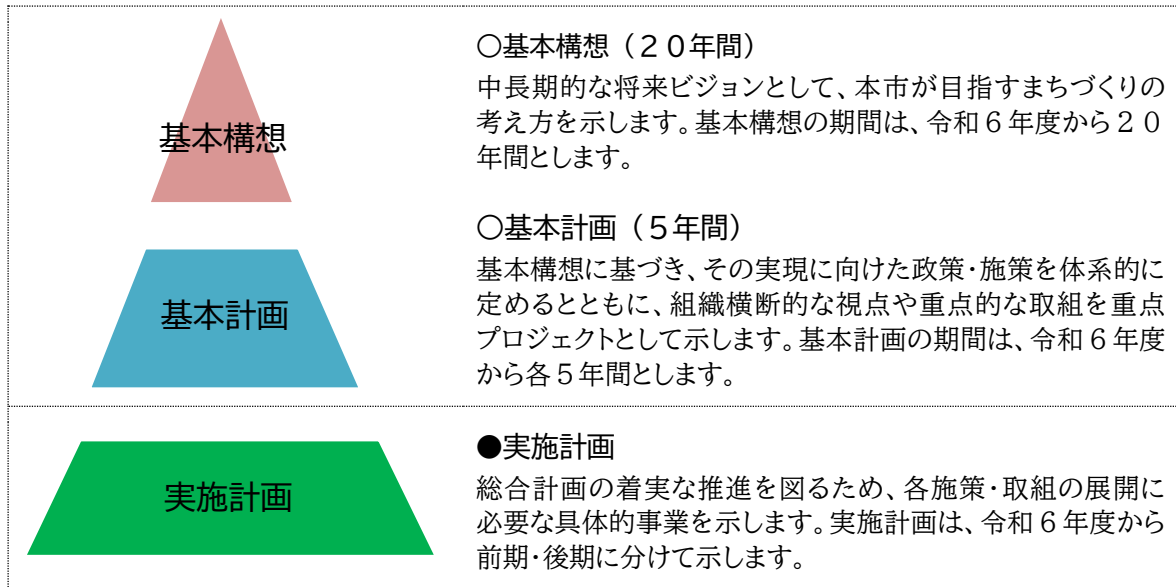
本市の基本構想で掲げる「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は、それぞれが想う幸せな未来につなぐための4つのまちづくりの道を示すものであり、SDGsの考え方(地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現)とも重なるものであることから、基本計画に位置付ける諸施策の推進は、SDGsの達成に寄与するものになります。

そのため、第1期基本計画では、各政策とSDGsとの関係を整理するとともにわかりやすく明示し、本市におけるまちづくりの総合的な観点からSDGsを推進します。



## 2 基本計画の位置づけと計画期間

第1期基本計画は、基本構想の構想期間である20年間のうち、最初の5年を対象とし、令和6年度から令和10年度までを計画期間とします。



### 3 まちづくりの基本方針

#### (1) 第1期基本計画名称（HAPPY SMILE PLAN -笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道-）

「幸せつなぐ 未来への道しるべ」は、4つのまちづくりの方向性を示し、さまざまな年代や立場からみた、それぞれが想う幸せな未来につなぐことです。その先の向こうには、世代や立場を超え、多様な人々がつながり合い、支え合いながら、みんなが笑顔で、微笑みに包まれた日常が広がっています。

この笑顔をつないでいくためには、行政だけではなく、まちづくりに関わるすべての人が力を合わせて、この計画をみんなで共有し行動することが大切です。

そこで、この趣旨を踏まえ、第1期基本計画が親しみやすく、わかりやすい計画となるよう、名称を「HAPPY SMILE PLAN -笑顔と笑顔をつなぐ街 四街道-」としてみんなで推進していきます。

#### (2) まちづくりの推進力（エンジン）

今後、多様化する行政課題に柔軟に対応し、計画に基づく施策をより効果的に進めるためには、まちづくりのための推進力（エンジン）が必要です。

本市では、市民協働、官民連携、デジタル化、シティプロモーションの4つを推進力（エンジン）として設定し、政策を展開していきます。

##### ・市民協働

地域ごとのさまざまな課題への対応にあたっては、市民をはじめとした地域の担い手と連携・協力しながら、施策を効果的に推進します。

##### ・官民連携

民間事業者のアイデア・ノウハウ・資本等を活用した協働のまちづくりにより、施策を効果的に推進します。

##### ・デジタル化

日々進化し続けるデジタル技術を効果的に活用し、市民サービスの向上や効率的な行政運営を推進します。

##### ・シティプロモーション

各施策や魅力的な地域資源を効果的に発信することにより、交流人口の増加と認知度向上を図りながら、本市の価値をさらに高めます。

#### (3) みんなで創るみんなの計画

本市では、市民が行政活動に参加し、市民自治による暮らしやすいまちづくりを行う市民参加や、より良い地域社会を実現するため、市民をはじめとしたさまざまな主体が連携・協働しながら自主的にまちづくりに関わっていく市民協働の取組を推進しています。

この総合計画の策定にあたっては、さまざまな市民参加を通じて、多くの方から幅広い意見や想いを聴き、みんなで創るみんなの計画となるよう策定したものです。

また、「HAPPY SMILE PLAN」の取組段階においては、自主的にまちづくりに関わっていくさまざまな主体と連携していくなど、みんなで計画を共有し推進していきます。



## 《実施した市民参加手続》（令和5年7月現在）

### 市民意識調査（令和3年10月）

市政に対する市民の意識を把握し、本市の現状及び課題を抽出するため、市民意識調査を実施しました。

- 79. 0%が、四街道市は『住み良い』と感じている
- 77. 3%が、四街道市に『住み続けたい』と感じている
- 74. 7%が、四街道市を『好き』と感じている

### 市長とよぴとーく～聞かせてくださいあなたの想い～（令和4年8月）

将来の理想のまちの姿やその実現に向けた取組等について、市長と意見交換会をオンラインにて実施し、5名の方が参加しました。

### 若者・子育て世帯向けオンラインアンケート（令和4年8月）

若者や子育て世帯の意向を把握することにより、市の現状及び課題を抽出するため、若者・子育て世帯向けオンラインアンケートを実施しました。

- 子育て世帯の80. 1%が、四街道市は『子育てしやすい』
- 若者や子育て世帯が望む未来の四街道市の方向性は、『子育て』『教育』『健康』『安全・安心』の充実したまち

### よぴくる会議～これからの四街道市をみんなで作る市民会議～（令和4年11月）

魅力あるまちづくりのためのアイデアや常日頃から感じている四街道への想いについて伺い、これからの四街道市をより良いまちにするため、各回異なる分野により全4回市民会議を実施しました。

25名の方が参加し、「これからの四街道市」について、提言をいただきました。  
また、よぴくる会議の一環として、理想とする「○○なまち」について、ポスターセッションを実施し、112件の意見がありました。

### U-18よぴディア選手権！～Make our Future of Yotsukaido～（令和5年3月）

市内在住、在学の18歳以下の方から広くアイデアを募集するため、アイデア募集を実施したところ、120件の提案があり、書類審査及びアイデア発表会を踏まえ、5組の受賞者を決定しました。

### タウンミーティング（令和5年5月）

まちづくりの考え方を示す基本構想骨子(案)などについて説明するとともに、より良いまちにするため、オンライン及び市内2会場で全6回タウンミーティングを実施しました。  
69名の方が参加し、82件の意見がありました。

## （4）計画の進行管理

**HAPPY SMILE PLAN** の推進にあたっては、計画の実効性を確保するため、指標に基づく達成度評価や計画と予算の連携を強化するなど、適正な進行管理に努めます。

また、進行管理にあたっては、PDCAサイクル(計画(Plan)－実施(Do)－評価(Check)－改善(Action))の実施により事業の進捗状況や課題を的確に把握・分析することで、限りある行政資源の効果的な活用による、効率的な事業の推進を図ります。

なお、**HAPPY SMILE PLAN** の進捗状況については、透明性を確保するため、市ホームページなどの情報媒体による公表に努めます。

## 4 人口フレーム

### (1) 総人口・世帯数の推移

本市の人口は、令和2年国勢調査によれば、93,576人となっています。平成27年より約4,000人増加し、平成7年以降で最大の増加幅となっています。

また、平成12年を基準として千葉県、全国の人口の推移と比較すると、全国的には人口減少が始まり、県の人口はほぼ横ばいで推移する中、本市は一貫して増加傾向を維持しています。

世帯数については、令和2年に38,456世帯となり増加傾向にあります。1世帯当たり人員は減少傾向にあります。

図 総人口・世帯数の推移

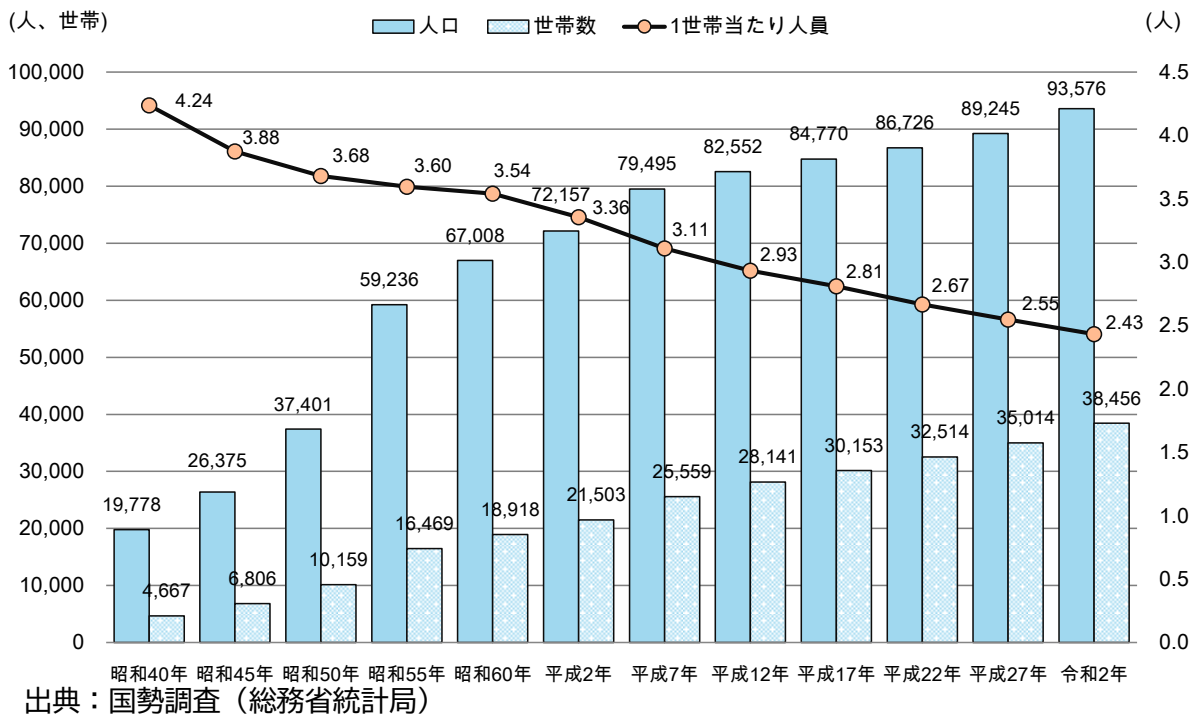
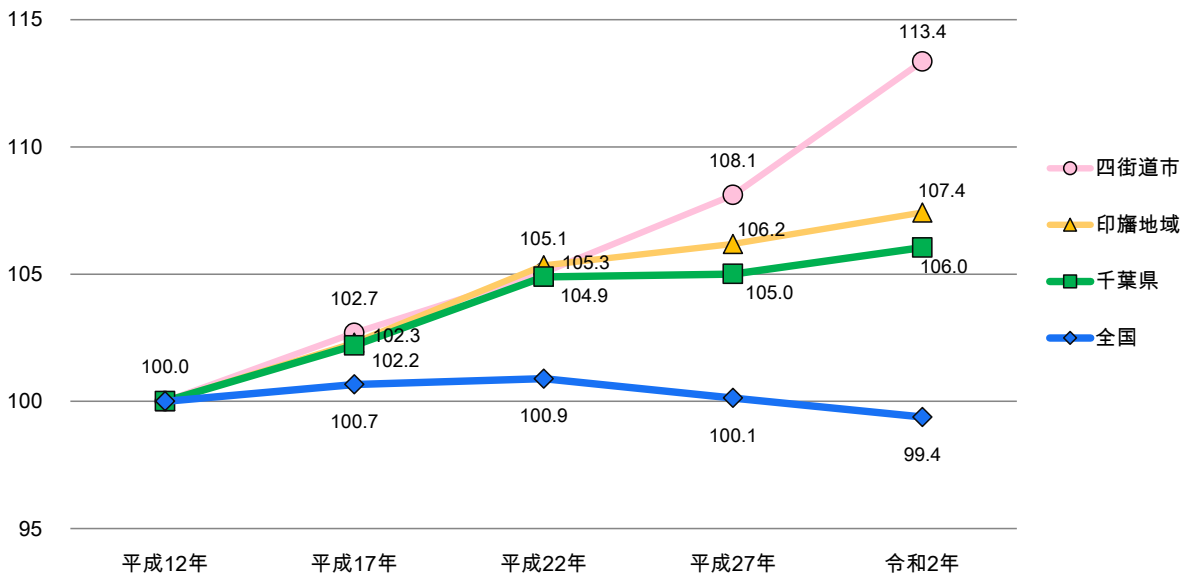


図 四街道市、印旛地域、千葉県、全国の人口の推移（平成12年を100とした数値）



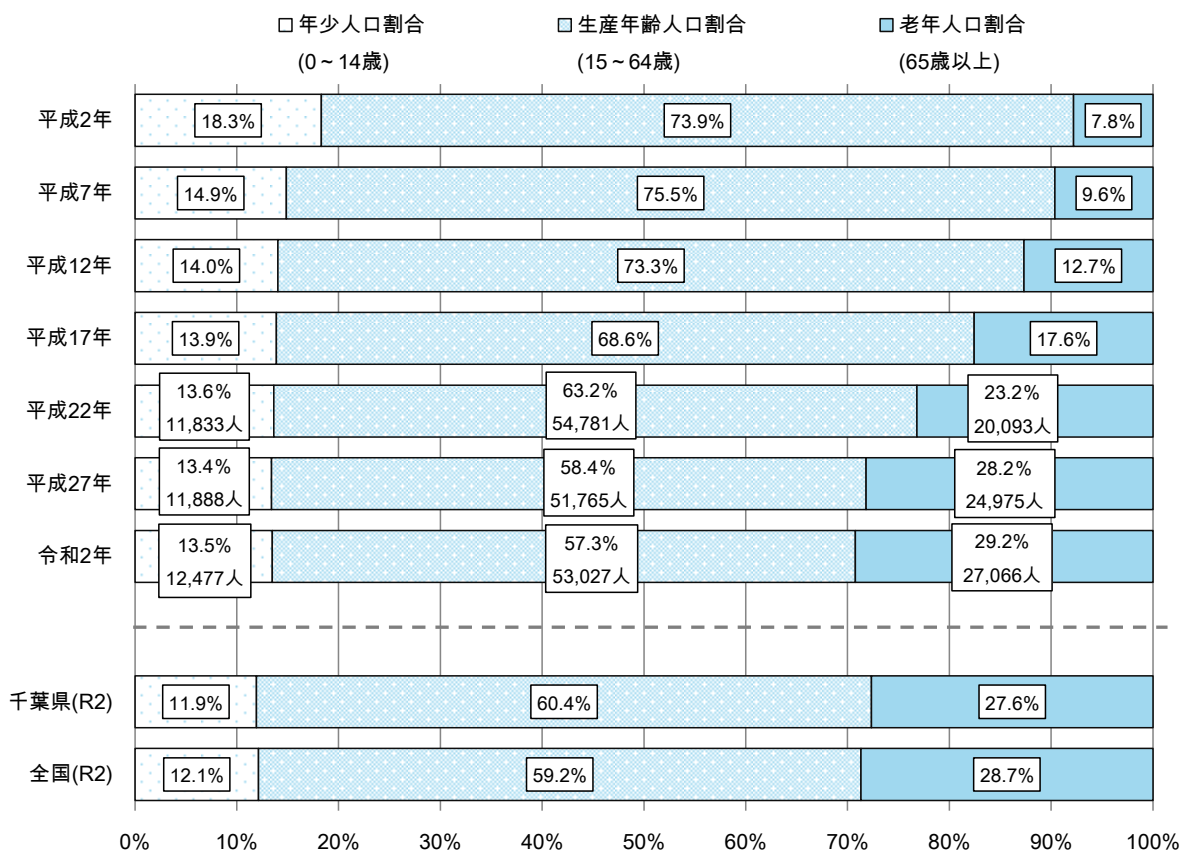
## (2) 年齢階層別人口の推移

本市の年齢3階層別人口構成の割合は、令和2年に、年少人口(0歳～14歳)が12,477人の13.5%、生産年齢人口(15歳～64歳)が53,027人の57.3%、老年人口(65歳以上)が27,066人の29.2%となっています。

また、本市の年齢3階層別人口推移をみると、老年人口は一貫して増加傾向であり、高齢化が進展しています。一方、年少人口は、近年、概ね横ばいで推移しており、少子化の進展には一定の歯止めがかかっています。生産年齢人口については、減少傾向が続いていましたが、令和2年には増加に転じています。

さらに、本市の令和2年の年齢3階層別人口構成を千葉県・全国と比較すると、本市は年少人口割合(本市13.5%・千葉県11.9%・全国12.1%)と老年人口割合(本市29.2%・千葉県27.6%・全国28.7%)が高く、生産年齢人口割合(本市57.3%・千葉県60.4%・全国59.2%)が低い傾向にあります。

図 年齢3階層別人口の推移



出典：国勢調査

注釈：「年齢不詳」は含まない。

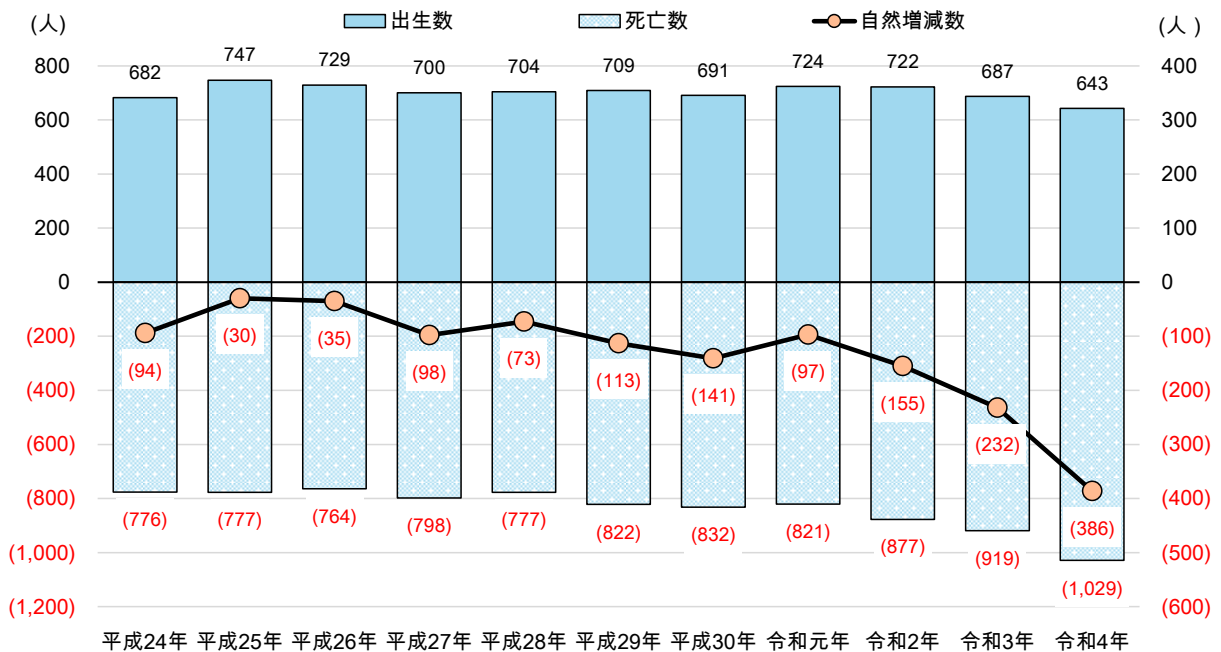


### (3) 自然動態

本市の出生数は、近年700人前後で推移していたものの、令和3年以降減少傾向となっており、新型コロナウイルス感染症の影響も一因と考えられます。死亡数は、長期的に増加傾向となっており、死亡数が出生数を上回る自然減が平成24年から継続しています。

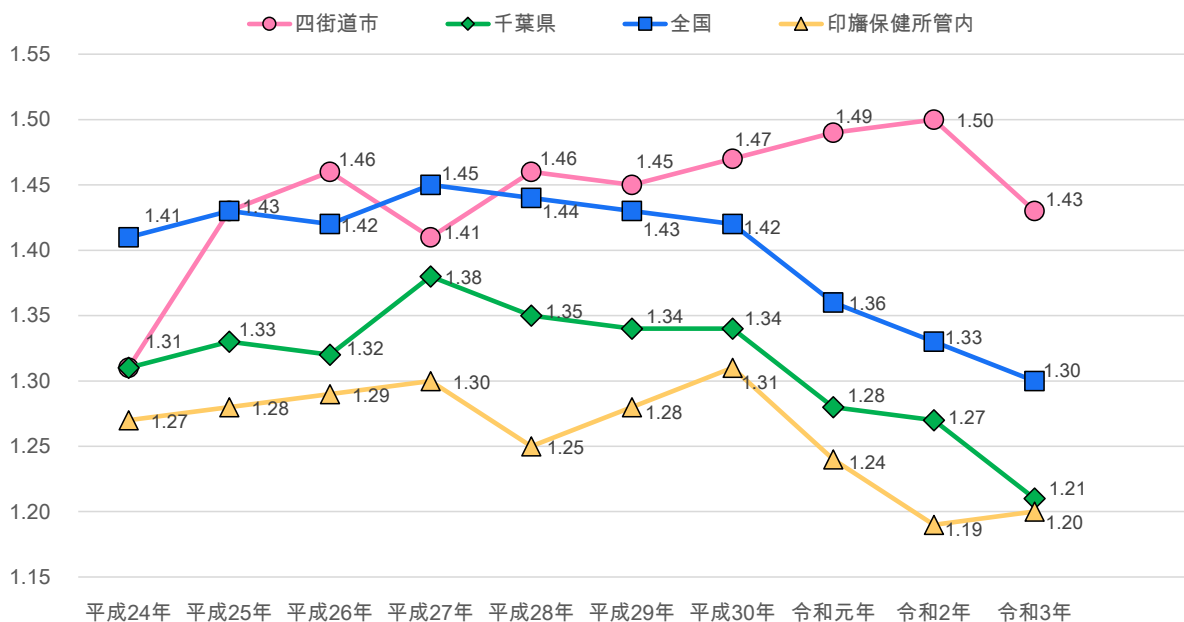
本市の合計特殊出生率は、全国や千葉県を上回る水準で推移しているものの、人口減少に歯止めのかかる水準(2.07程度)とは、依然として大きな差があります。

【図 自然増減数の推移】



出典：千葉県毎月常住人口調査（各年1月1日～12月31日）

【図 合計特殊出生率の推移】



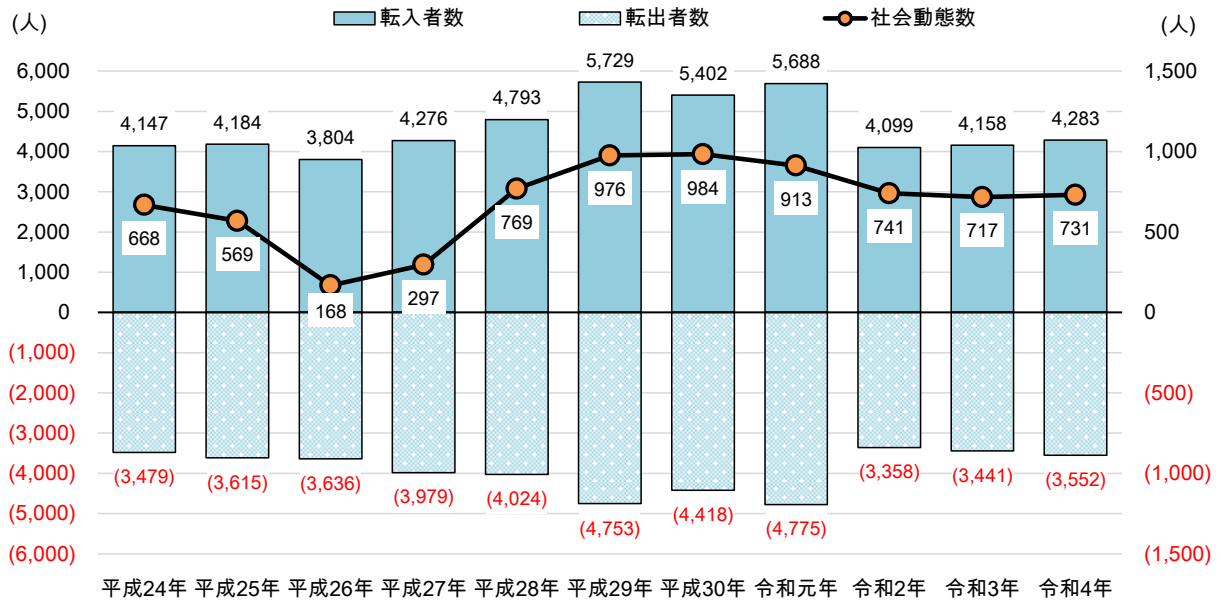
出典：千葉県ホームページ「合計特殊出生率」

#### (4) 社会動態

本市の社会動態は、転入者数が転出者数を上回る社会増を維持しており、新型コロナウイルス感染症の影響がある令和2年以降も社会増は700人以上を維持しています。

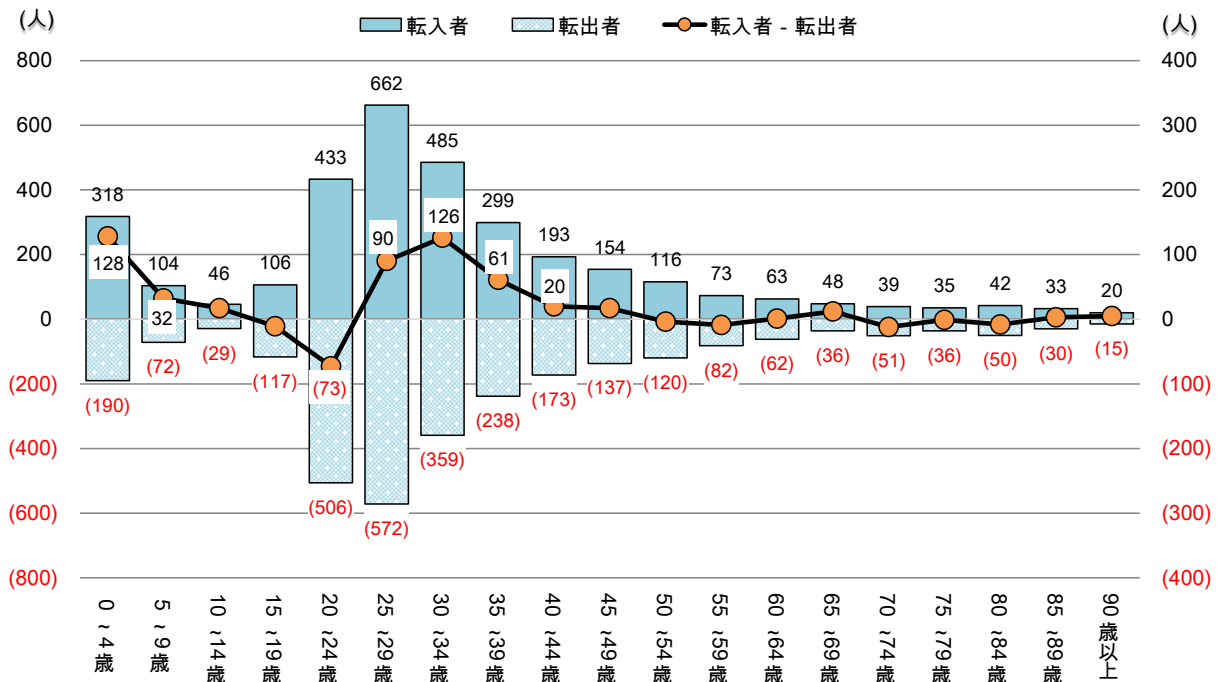
また、年齢5階層別では、転入のうち約72%が若いファミリー層(20-30代と15歳未満)となっています。

【図 社会増減数の推移】



出典：千葉県毎月常住人口調査（各年1月1日～12月31日）

【図 年齢5階層別社会増減数】



出典：住民基本台帳データ（令和4年1月1日～12月31日：日本人）

### (5) 将来人口の見通し

四街道市人口ビジョン(令和2年2月改訂)における将来人口のシミュレーションでは、市の人口は、令和12年までは増加基調で推移するものの、日本全体の少子高齢化による人口減少に伴い、以降本市においても人口減少に転じる可能性があります。

また、年齢3階層別人口構成は、令和27年には、0～14歳が14.3%、15～64歳が54.0%、65歳以上が31.7%になると見込まれ、今後20年間で、高齢化がさらに進むものと見込んでいます。

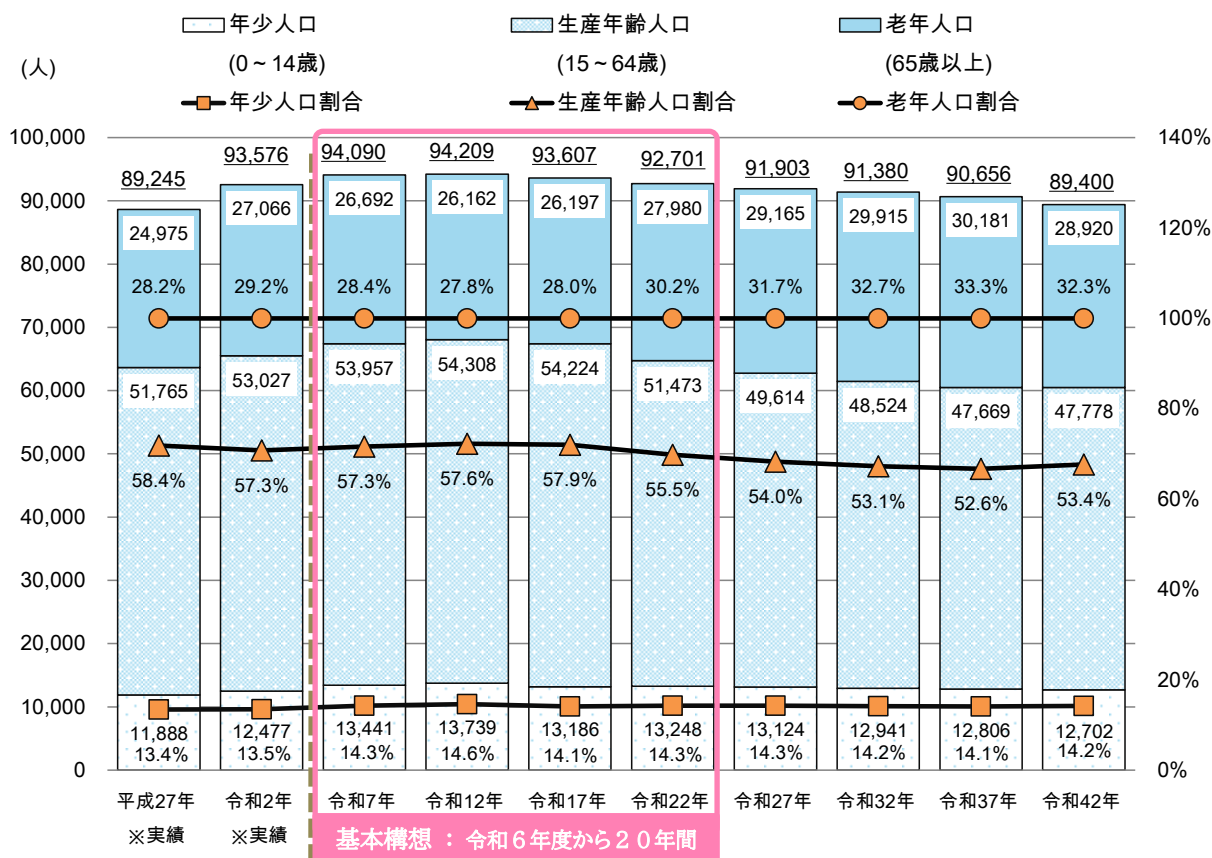
基本構想の構想期間である令和6年度から20年間では、令和5年と同程度の人口が維持される見通しになります。

令和5年 ○○, ○○○人

令和25年 約92,000人

※10月1日時点の常住人口を記載予定

図 年齢3階層別人口の推移



注釈：平成27年・令和2年は国勢調査の実績値、  
「年齢不詳」は各年齢3階層別人口に含まないが、合計値には含めて記載している。

出典：国勢調査、四街道市人口ビジョン（令和2年2月改訂）

#### 将来人口についての考え方

本市では、若い世代の結婚・出産・子育ての希望の実現に向け十分な支援をしていくことで、自然動態の改善に伴い、人口減少の歯止めにつながる可能性があります。

そのため、令和42年において、平成27年と同程度の人口を維持することを目指し、約90,000人を四街道市人口ビジョンの目標としています。

## 5 財政フレーム

---

### (1) 財政の現状

- 歳入決算額の推移
  
- 歳出決算額の推移

### (2) 将来財政の見通し

## 6 四街道市の概況

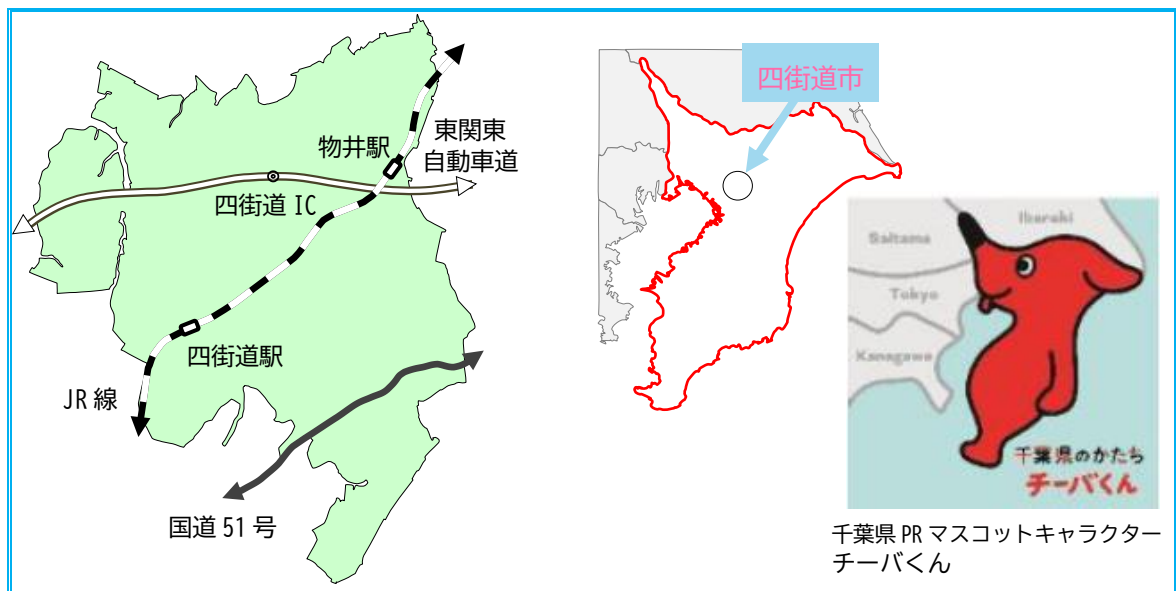
### (1) 位置・地勢

四街道市は、都心から40km圏内にあり、県都千葉市や佐倉市に接しており、千葉県形のしている「チーバくん」の“ほっぺ”の部分に位置しています。

東西7km、南北9km、面積は34.52km<sup>2</sup>とコンパクトな市域ながら、JR線(総武本線・成田線)をはじめ、広域幹線道路の東関東自動車道や国道51号が市域を横断しています。

四街道は古くから交通の要所として知られ、4つの街道が交わる場所であることが地名の由来となっています。今も交通アクセスは良好で、JR線の快速(直通)により四街道駅から東京駅へ約50分、成田空港へ約25分と短時間で行き来が可能のほか、車では東関東自動車道の四街道ICから東京へ約60分、成田空港や幕張新都心へ約30分で向かえるなど、日々の仕事や暮らしに大変便利な位置にあります。

また、住宅地のすぐ近くには里山の風景や緑豊かな自然があふれ、ホテルも生息している都市と自然が調和する街です。



### (2) あゆみ

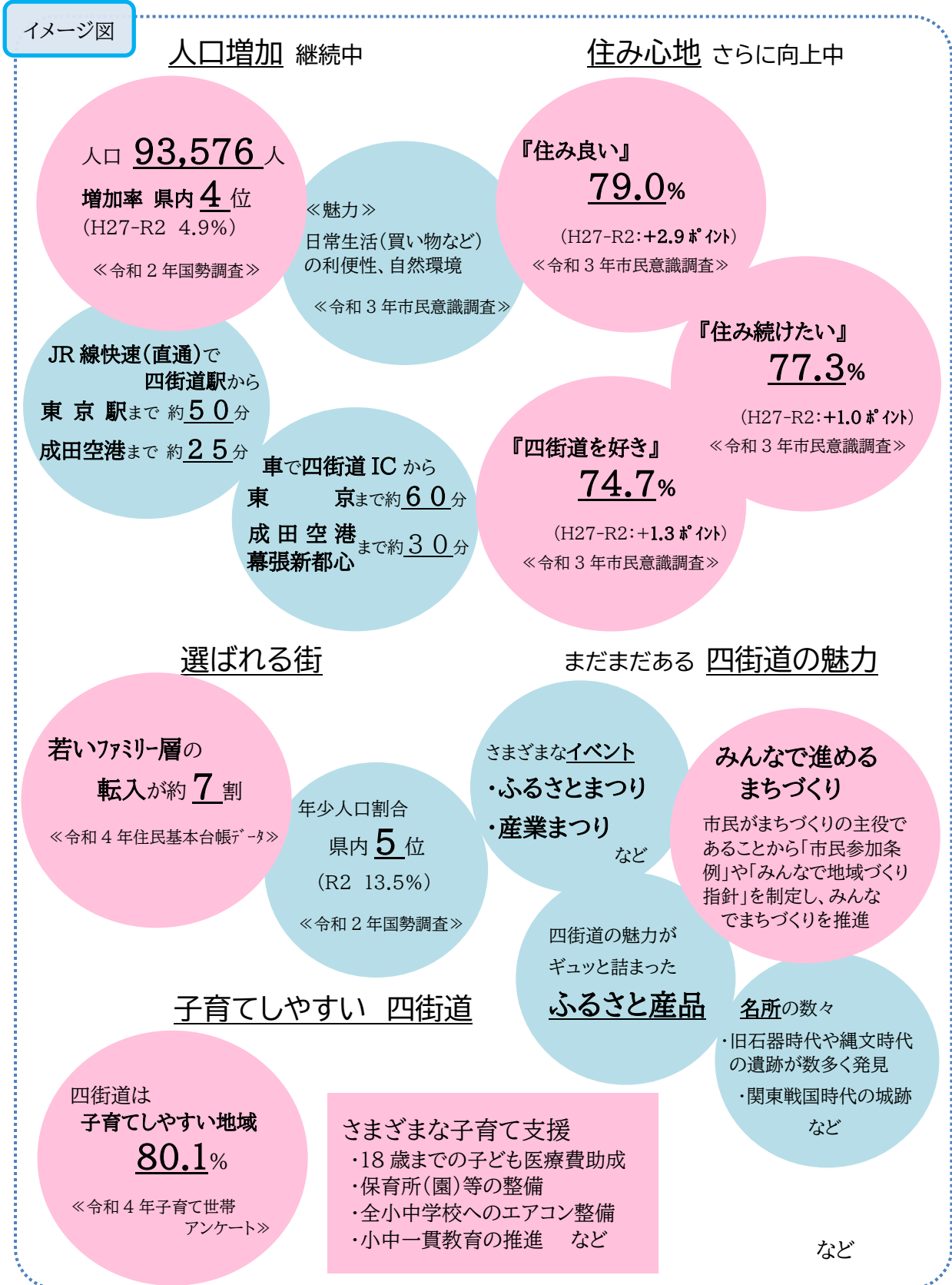
明治22年	・現在の四街道市の前身である千代田村、旭村が誕生
明治27年	・県下初の鉄道として、総武鉄道が東京方面から、千葉経由で佐倉まで開通し、四街道駅が開設
昭和15年	・千代田村が町制を施行
昭和30年	・千代田町と旭村が合併し、四街道町として町制を施行
昭和40年代 ～50年代前半	・旭ヶ丘グリーンタウン、千代田団地、みそら団地などの大型団地が整備され、首都圏の住宅都市として急速に人口が増加
昭和52年	・アメリカ・リバモア市と姉妹都市締結
昭和56年	・県下28番目の市として市制を施行
平成13年	・市制施行20周年を記念し、「市民の日」を制定
平成22年	・第65回国民体育大会ゆめ半島千葉国体開催 四街道市は銃剣道競技会場に指定
令和3年	・市制施行40周年を記念し、「シティセールスロゴマーク」を作成



### (3) 市のPRポイント

四街道市は、都心からほど近く、通勤や日常生活に便利で、緑豊かな自然があふれるコンパクトな住宅都市として、多くの子育て世帯から選ばれ発展を続けています。

また、本市のPRポイントは自然の豊かさ、住環境以外にも、こんなに多くの魅力があります。





**HAPPY SMILE PLAN** は、未来に向けた持続可能なまちづくりとして、将来的に見込まれる人口減少や人口構成の不均衡への対応をはじめ、社会環境が変化する中であっても、いつまでも住み続けたい、みんなが住んでみたい四街道へ向かって推進していくものです。

これは地方創生の基本的な考え方である「それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していく」とも一致するものであり、また、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方(地球上の誰一人取り残さない持続可能でよりよい社会の実現)とも重なるものでもあります。

そこで、行政における組織横断的な視点や、地方創生・SDGsの考え方を踏まえ、「幸せつなぐ未来への道しるべ」が示す4つのまちづくりの道における、重点的な取組を「**HAPPY SMILE PROJECT**」として定め、推進していきます。



図予定



行政における組織横断的な視点や、地方創生・SDGsの考え方を踏まえ、4つのまちづくりの道における重点的な取組として「HAPPY SMILE PROJECT」を定め、計画を効果的・効率的に推進します。

### 《取組イメージ・未確定》

#### 未来を応援する道

- ・子どもたちの夢を育むイベント等の開催をはじめ、若者の結婚を応援する取組や子育てに関する経済的負担の軽減、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援。
- ・ふるさと四街道を次代に引き継ぐため、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組や、循環型社会の構築など、持続可能な社会形成に向けた取組。
- ・みんなが未来でも安心して暮らせるよう、生活を支えるライフラインの計画的な更新や、公共施設の適切な維持管理など、都市基盤の整備。

#### ふるさとを誇れる道

- ・さまざまな主体との連携・協力のもと、歴史を彩ってきた伝統的なイベントや、多様な農産物の収穫体験など、本市ならではの魅力を体感できるイベントの開催。
- ・貴重な自然地や生態系の保全、自然環境を活用した学習機会の充実など、みんなが本市の豊かな自然に親しめる環境の整備。
- ・本市にゆかりのある著名人の協力による効果的な情報発信や、魅力的な地域資源を活用したメディア露出機会の充実により、ふるさと四街道への愛着や誇りの醸成。

#### 子どもがまんなかの道

- ・すべての子どもの権利擁護をはじめ、児童生徒一人ひとりに向き合うとともに変化に対応した教育環境の整備など、地域全体で子育てを支援する取組。
- ・市民・地域・関係機関などさまざまな主体と連携・協力し、すべての世代が安心を実感できるための取組や、多様化・巧妙化する犯罪リスクへの対応する取組。
- ・現役世代をはじめ、就労を希望する人がライフステージに応じたさまざまな働き方を選択できるよう、新たな企業誘致や、地域産業の活性化を図る取組。

#### 人によりそうやさしい道

- ・ライフステージに応じた健康づくりのための取組や、介護・認知症予防への取組、地域包括ケア体制の整備。
- ・自助・共助・公助の視点に基づき、危機管理体制の充実や、地域防災力の向上、消防・救急体制の整備。
- ・だれもが楽しみながら暮らせるよう、生涯学習や文化・スポーツに取り組む機会の充実、共生社会の実現に向けた取組。

## 8 HAPPY SMILE PLAN の体系

		未来を応援する道		
		ふるさとを誇れる道		
		子どもがまんなかの道		
		人によりそうやさしい道		
<b>分野</b> 安全・安心 <b>目標(仮:笑顔のピース)</b> 災害などのリスクを想定し、多様な主体が連携して安全を確立するとともに、暮らしの中で安心を実感できるまちを実現する	<b>政策</b> 災害リスクを想定した防災対応力を向上させる 地域と連携して暮らしを守る 災害に強いライフラインを整備する	<b>施策</b> 防災対策の推進 地域防災力の向上 防災拠点の整備 消防・救急の充実 地域防犯体制の充実 ライフラインの強化 排水対策の推進		
<b>分野</b> 健康・福祉・子育て <b>目標(仮:笑顔のピース)</b> いつでも笑顔でいられるように、健やかで支え合う思いやりのあるまちを実現する	<b>政策</b> 健やかに暮らすためのサポート体制を充実する みんなで支え合う環境を整備する 子育てをみんなで応援する	<b>施策</b> 健康づくりの推進 地域保健医療の充実 高齢者福祉の充実 障がい者福祉の充実 地域福祉の充実 子育て支援の推進 子育て環境の整備		
<b>分野</b> 教育・文化・スポーツ <b>目標(仮:笑顔のピース)</b> 未来の笑顔が輝くように、夢や希望にあふれるまちを実現する	<b>政策</b> 一人ひとりの個性を活かして学校教育を推進する 子どもの健全な成長を支える 生きがいづくりの環境を整備する	<b>施策</b> 学校教育の充実 学校教育環境の整備 家庭・地域・学校の連携 青少年健全育成の推進 生涯学習の推進 芸術・文化の振興 スポーツの振興		
<b>分野</b> くらし・環境 <b>目標(仮:笑顔のピース)</b> 豊かな自然と都市の利便性が調和した、住み良さが選ばれるまちを実現する	<b>政策</b> 住み良さを実感できる環境を整備する 安心して利用できる道路交通基盤を整備する 地球にやさしい地域社会を構築する	<b>施策</b> 住環境の整備 公園・緑地の整備 市街地の整備 道路網の整備 公共交通サービスの充実 ゼロカーボンの推進 環境保全・環境美化の推進 循環型社会の推進		
<b>分野</b> にぎわい・共創 <b>目標(仮:笑顔のピース)</b> 多様な主体がつながって、にぎわいにあふれるみんなが好きなまちを実現する	<b>政策</b> ポテンシャルを活かした地域経済の活性化を推進する 地域の魅力を磨き上げPRする みんなで創るまちづくりを推進する	<b>施策</b> 商工業の振興 雇用の創出 農林業の振興 魅力の創出 魅力の発信 みんなで地域づくりの推進 コミュニティ活動基盤の整備 ダイバーシティの推進		
<b>推進基盤</b>		将来に向けた持続可能な行政運営		





HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN

HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN

HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN

HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN HAPPY SMILE PLAN



いまの四街道市

○緑に囲まれた、首都圏の住宅都市として発展  
 ○人口増加に伴い都市基盤が充実  
 ○日本全体の人口が減少する中で人口増加を維持

〈**住み心地**〉 市民意識調査、子育て世帯向けオンラインアンケート  
 ○79.0%が、四街道市は「住み良い」 ○77.3%が、四街道市は「住み続けたい」  
 ○74.7%が、四街道市を「好き」  
 ○子育て世帯の80.1%が、四街道市は「子育てしやすい」

〈**魅力**〉  
 ○日常生活(買い物など)や通勤・通学に便利  
 ○自然が豊か  
 ○イベント(ふるさとまつりや産業まつり等)  
 ○子ども・子育て施策の充実

〈**課題**〉  
 ○若者のUターン意向が弱い  
 ○高齢化による公共交通の利用者減少  
 ○バリアフリー環境への対応が不十分  
 ○慢性的な交通渋滞

市民がめざすこれからの四街道市

〈**市民意識調査**〉 ■目指すべきまちの姿■  
 ○結婚・出産・子育ての希望がかなう、子育てしやすいまち  
 ○だれもが健康でいきいき暮らせる、福祉のまち  
 ○安全・安心を実現する、防災・防犯体制の整ったまち  
 ○みどりと都市が調和した、良好な住環境のまち

〈**市長とよびとーく**〉 ■四街道市(わたしたち)の未来を考えよう■  
 ○子どもたちの気持ちや声にきちんと耳を傾けられる子どもが真ん中のまち  
 ○世界とつながる子どもたちを育てられるまち、生涯教育という概念を市政に導入するまち  
 ○芸能と文化の香り豊かなまち  
 ○歩きやすいまち

〈**若者・子育て世帯向けオンラインアンケート**〉 ■未来の四街道市の方向性■  
 ○自然災害に強いまち  
 ○みんなが健康でいきいきと暮らしているまち  
 ○親が子どもを育てやすく、子どもたちも住みやすいまち  
 ○小学校・中学校での学校教育が充実しているまち  
 ○都市とみどりの調和がとれたまち  
 ○産業や商店がにぎわっているまち

〈**よびくる会議**〉 ■めざすまちの姿■  
 ○人と人がつながる、幸せな豊かなまち  
 ○夢があふれる、夢をつくる、住みよいまち  
 ○すべての人に寄り添う、誰一人取り残されないまち  
 ○若い世代が子どもを産みやすく育てやすいまち  
 ○“今ある幸せ”つながって共有できるまち  
 ○子どもと高齢者に優しい、住み続けたいと思えるまち

これからの四街道市

⇒年代や環境によりさまざまな想い  
 今の四街道市の魅力を引き継ぎながら、新たな魅力を望む声  
 ●結婚や出産、子育ての希望を叶える、持続可能な社会形成 など  
 ●魅力の発信や創出、良好な住環境 など  
 ●地域全体での子育て支援、産業・就業支援 など  
 ●健康づくりや危機管理体制の充実、共生社会の実現 など  
 ⇒さまざまな立場からみたまんなの幸せに寄り添う

重要な視点

- 高齢者から子どもまで、誰もが希望や夢の実現に向けて努力することができる環境づくり
- 人・自然・歴史をさらに磨き上げ、住んでみたい、住み続けたいと思える魅力的な四街道への愛着を深めることができる環境づくり
- 今を創り、未来を支えていく、現役世代が安心して生活できる環境のもとで活躍しながら、未来を担う子どもたちが健やかに育つ、共に輝く環境づくり
- 高齢者も子どもも、障がいのある人もない人も、誰にとっても住みやすく、活躍できる環境づくり

市民が考えるこれからの四街道市に必要な主な取組

- 〈**防災・減災**〉  
 ○自助・共助の意識付け  
 ○適切な避難所の運営  
 ○災害時等の情報伝達の充実  
 ○安全な街の維持
- 〈**消防・救急**〉  
 ○救急体制の充実
- 〈**防犯・交通安全**〉  
 ○防犯対策・交通安全の推進
- 〈**生活基盤**〉  
 ○安定した生活基盤
- 〈**健康づくり**〉  
 ○健康づくりの推進  
 ○健診・検診の充実  
 ○健康の保持・増進
- 〈**超高齢化社会**〉  
 ○高齢化社会を見据えた取組の充実  
 ○高齢者の活躍の場  
 ○高齢者の居場所づくり
- 〈**少子化**〉  
 ○少子化対策の推進  
 ○子育て支援の充実  
 ○子ども・若者の居場所づくり
- 〈**子ども教育**〉  
 ○教育環境の充実  
 ○児童生徒支援の充実
- 〈**生涯学習**〉  
 ○生涯学習の推進
- 〈**教育の地域連携**〉  
 ○家庭・地域・学校の連携
- 〈**文化・スポーツ**〉  
 ○芸術文化振興の推進  
 ○地域資産の保全・活用  
 ○スポーツ活動の機会拡充
- 〈**住環境**〉  
 ○良好な住環境の整備  
 ○空き家対策  
 ○公園・緑地の充実
- 〈**市街地整備**〉  
 ○市街地の整備  
 ○道路管理の強化  
 ○自転車利用環境の整備  
 ○交通環境の整備
- 〈**ゼロカーボン**〉  
 ○ゼロカーボンシティの推進  
 ○省資源・省エネルギーの推進
- 〈**自然環境**〉  
 ○良好な環境の維持  
 ○豊かな自然の保全
- 〈**地域経済**〉  
 ○企業誘致の推進  
 ○産業育成  
 ○創業支援  
 ○農業経営者の育成・支援  
 ○地産地消の推進
- 〈**魅力の創出・発信**〉  
 ○魅力的なイベントの実施  
 ○シティプロモーションの強化  
 ○広報活動の充実の強化
- 〈**地域づくり**〉  
 ○郷土愛の醸成  
 ○市民参加の促進  
 ○地域自治活動の支援
- 〈**共生社会**〉  
 ○多文化共生の推進  
 ○国際交流の継続・推進  
 ○外国人のコミュニケーション支援

HAPPY SMILE PROJECT/重点プロジェクト

行政における組織横断的な視点や、地方創生・SDGsの考え方を踏まえ、4つのまちづくりの道における重点的な取組として「HAPPY SMILE PROJECT」を定め、計画を効果的・効率的に推進します。



まちづくりの体系

分野	政策
安全・安心 目標(仮:笑顔のピース) 災害などのリスクを想定し、多様な主体が連携して安全を確保するとともに、暮らしの中で安心を実感できるまちを実現する	政策 災害リスクを想定した防災対応力を向上させる 地域と連携して暮らしを守る 災害に強いライフラインを整備する
健康・福祉・子育て 目標(仮:笑顔のピース) いつでも笑顔でいられるように、健やかで支え合う思いやりのあるまちを実現する	政策 健やかに暮らすためのサポート体制を充実する みんなで支え合う環境を整備する 子育てをみんなで応援する
教育・文化・スポーツ 目標(仮:笑顔のピース) 未来の笑顔が輝くように、夢や希望にあふれるまちを実現する	政策 一人ひとりの個性を活かして学校教育を推進する 子どもの健全な成長を支える 生きがいづくりの環境を整備する
暮らし・環境 目標(仮:笑顔のピース) 豊かな自然と都市の利便性が調和した、住み良さで選ばれるまちを実現する	政策 住み良さを実感できる環境を整備する 安心して利用できる道路交通基盤を整備する 地球にやさしい地域社会を構築する
にぎわい・共創 目標(仮:笑顔のピース) 多様な主体がつながって、にぎわいにあふれるみんなが好きなまちを実現する	政策 ポテンシャルを活かした地域経済の活性化を推進する 地域の魅力を磨き上げPRする みんなで創るまちづくりを推進する
推進基盤	将来に向けた持続可能な行政運営

社会経済情勢の変化や各分野における課題